

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立 小山田小学校

校長 鈴木 真 弓

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

○「開かれた学校づくり」をめざします

「学校づくりビジョン」の実現に向けた学校運営及び学校教育活動の充実について、様々な視点からの意見や考えを交流しあいながら、地域コミュニティづくりを推進します。

○教育活動は学校評価を基点にします

学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の想いや願いを反映した学校づくりを推進します。

○「地域とともにある学校」の推進を図ります

学習支援をはじめとして、さまざまな教育活動に保護者や地域の方との活動を継続・発展させます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【米作り】

C S 委員を通して「山田町自然を守る会」にご協力いただき、本年度より山田町の田んぼで「米作り」に取り組んだ。



【いも作り】

校舎西の畑で、全校でさつまいもを育てた。



【水難事故防止授業】

消防士である CS 委員さんから水難事故防止についてお話をいただいた。



【3・5年生のしめ縄づくり】

3・5年生がしめ縄づくりを体験した。地域の方に作り方の指導などを行っていただき、しめ縄がきれいにできた。



【ごみゼロ大作戦（地域清掃活動）】

CS 委員を通して社協青少年部にも協力をいただき、4年生が通学路上のごみ拾い活動に取り組んだ。



【高齢者体験】

CS 委員を通して、地域の青山里会の職員の方に来校いただき、4年生児童が様々な機器を使わせていただいて、高齢者の動きづらさなどを体験することができた。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- 運営協議会委員自身が学習活動に参加していただくほか、運営協議会委員が地域の方（団体・個人とも）と学校をつないでくださる場面が多かった。そのため、地域の人材を生かした教育活動を行うことができた。特に今年度より地域の田んぼでの「米作り」に取り組むことができた。
- 運営協議会委員が自分のできることを考えて提案くださったおかげで、上記に挙げたような教職員だけでは実施の難しい学習活動を実施することができた。

3 今後に向けて

- コロナ禍前に行っていた活動「芋煮会」については、形を変えて「感謝祭」となった。今後も、以前実施していたものをそのまま実施するのではなく、様々検討したうえで、より効果的なものを実施していきたい。
- 今まで実施されてきた取組と今年度から始めた活動、さらに来年度も新たに取り組む活動について、子どもたちの成長段階に合わせたカリキュラムマネジメントを実施し、「社会に開かれた教育課程」となるよう、改善に取り組んでいきたい。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 小山田小学校

委員長 片岡 洋 将

校長 鈴木 真 弓

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	16（木） 第1回運営協議会	・委嘱状渡し ・授業参観5限目 ・運営協議会 ・学校づくりビジョンの承認 ・教育に関する意見 等
6	20（木） 第2回運営協議会	・授業参観 ・運営協議会 ・教育に関する意見 等
7		
8		
9	24（火） 第3回運営協議会	・授業参観2限目 ・運営協議会 ・学校指定物品について・教育に関する意見 等
10		26（土） 運動会 運動会参観
11		19（火） 感謝祭 感謝祭参加
12		
1		
2	6（木） 第4回運営協議会 27（木） 第5回運営協議会	・授業参観2限目 ・学校保健員会へ参加 ・運営協議会 ・教育に関する意見 ・学校関係者評価について 等 ・六年生を送る会参観 ・運営協議会 ・教育に関する意見 ・学校関係者評価について ・次年度について 等
3		